

### 公害除去に努力

#### 騒音は防げない

市連合婦人会の第十五回市政会議は、二月十三日、市役所大会議室に婦人代表約六十人を集めて開かれた。当日は小笠原市長ら市執行部、橋本議長ら市会議員七人も出席。

今回は、空港、同和、財政という市の根幹にかかわる問題が議題に据えられ、女性らしいきめこまかな鋭い質問が出されました。



まず、浜田連合婦人会長から「空港、同和、財政の問題について学習するのが今日の目的です。私たちの質問には、大変次元の低いものがあると思いますが、間違っている所は訂正してほしいと思います」と挨拶があったあと、小笠原市長から今日の三つの議題について、「私の祖先が滑走路の近くで眠っており、騒音と排気ガスを考えると胸が痛みます。しかし、そういうセンチメンタリズムやロマンスで文化の歴史を逆回転させることはできません。国庫の方針が、実行段階に移った時、どう対処するかを真剣に考えるのが市長の役目であろうと考えています」

#### 静かな

#### 環境は宝

「一番大きな問題は、むしろ同和問題だと思います。長い間辛抱されてきた人たちがだんだん鬱みを直している。少々手厚い対策をとっても焼もちのようなことは慣むべきではないかと思えます。」

「財政問題には特効薬はありません。今、日本は転換期にきており過大な要求は遠慮願わねばならないかもしれません」と話があったりして入りました。

問い・住民にとって静かな環境は宝であり、守らなければならぬ権利です。公害と農地の破壊、何の利益もない拡張に反対します。また、特定空港に指定されたこと聞きました。特定とは何か、ご説明ください。

市長・私の気持は全くその通りで無条件に反対しなければなりません。が、世論や国の方針であり、私たち地元や市で抵抗しきれるものではないと思います。騒音、排気ガス

## 婦人らしく、きめこまかく

### 第15回市政会議

たものと思います。特定空港に指定されずと、防音装置などに対して法の援助がうけられます。

#### なぜ出している

#### 国会議員

問い・私たちは、国会議員、国会議員というものをしています。なぜ出しているのでしょうか。国会で拡張するのはいかんという権限はないのでしょうか。市会議員が、県会議員や国会議員に働きかけて、運輸省にも行って、未然に防ぐのが市会議員の役目だと思っ

問い・知事は県民のために、といっています。それなら県民、市民にどんなよいことがあるのかと聞くと、どなたも満足のゆく答えをしてくれません。

二期も三期もつとめた議員さんがたくさんおられますが、そうした議員さんがおって赤字がでています。信頼してまかせてあった議員さんに大きな赤字をつくられたましかその負担を市民にかけてくるまいと思いますが、私は空港問題についても、どこまで議員さんを信頼してよいかかわらない。どこまでも、生活のために反対します。

橋本議長、これは県民の経済をよくするために生れた問題ですが、県のために南國市が犠牲にならね

などに対して、技術的にどこまで被害を少なくできるか。また土地を取られる人たちにどういう対策をとるか、運輸省などから事情を聞き、皆さんと相談しながらという程度のことしかできないことを正直に申し上げておきます。

島内特別調査委員長・地方行政の議会には課せられた権限があり、それをほみだしたことをしても効力はあります。これに関連して浦戸湾の埋立て問題をよく言われますが、あれは高知市議会の権限が及びますから、議決いかんで阻止も理立てできなかったわけです。この基本的なことについて、私たちは公開質問状でそれぞれの団体にくわしく説明してありますが、下においでしていない。だから、議会は不採択にしてけしからんというが阻止しようにも阻止できないわけです。私たちが不勉強であれば、それができる方法を教えてください。反対市民連合にも何か知恵をお借りしました。豊中や伊丹などに調査に行きましたが、議会が住民運動に従って議決しているかという点、今いった基本的な問題があり、議会は議会の立場で公害除去の努力をしています。

特定空港に指定されたのは、プーラ空港で広島と高知だけです。これは、みなさんの運動がみのつ

#### 環境は宝

#### 静かな

問い・住民にとって静かな環境は宝であり、守らなければならぬ権利です。公害と農地の破壊、何の利益もない拡張に反対します。また、特定空港に指定されたこと聞きました。特定とは何か、ご説明ください。

市長・私の気持は全くその通りで無条件に反対しなければなりません。が、世論や国の方針であり、私たち地元や市で抵抗しきれるものではないと思います。騒音、排気ガス

が、それは逃げ口上で拡張がなければ、売らねばならないわけですね。それから、私は他県の様子も聞いていますが、防音装置をつけて、どうして騒音が防げますか。よく考えてほしいと思います。

問い・世界は平和だといいますが、戦争はいつ起るか分かりません。大きなジェット機が飛んでいたら総攻撃をうけます。二度も基地をもちたくありません。

島内議員・基地化の問題は、議会でも問題にしても憶測の範疇でしかないわけが根拠がありません。

#### 現在にマッチした扱いを

「三年ほど前に、「建設ニュース」で徳島空港と高知空港を間違えて「高知空港は自衛隊が使用することを前提に拡張する」と載っていた特別委員会の問題になり、防衛庁へ行ったが間違いだということがわかった。

問い・私が言う基地化というのは、自衛隊がくるとか、こないとかというのではなく、一朝、事ある時に飛行機の飛ぶところは攻撃をうけるといふことです。戦争はおこらないと誰がいえるでしょうか。

### 差別の実態から学習

#### 現在にマッチした扱いを

生活の実態に

差別が

問い・公民館の事業計画の中に、同和問題の学習があり、映画を見ていますが、集ったみなさんに、「まっことそうじゃ、また聞きたかったらもう聞かなくてもええ」といわれるときがあります。な

るほどどうなつづける、訴えられるものがある話を聞いてこそ、その効果があるわけです。教育委員会として今の住民の気持ちにマッチする扱いをするように、まず私たちに指導・教育してほしいと思えます。

教育長・今の質問ですが、それぞれの考え方、受け取り方が違っているかという考え方が必要ではないかという考え方がたびたび出てくるわけですが、現実には差別はあるわけですが、言葉や手まね文字

#### 大部分が

#### 国県の補助

問い・同和問題ではどのくらいの予算をつかっていますか。

財政課長・同和対策事業、補助金同和教育などがあり、分けて申しあげたいと思います。

同和対策事業によって、福祉館児童館、集会所、浴場などの施設

ができていますが、これらの運営や扶助に約四千七百万円かかっています。その中で約五百万円は国などの補助がありますので、約四千二百万円が市費です。

次に、道路、集会所、住宅の建設などの同対事業の今年（五十年）の子算は、約六億一千三百万円です。これは大部分、国県の補助金、起債でまかなわれますので、市費は一割の六千万円ほどです。

同和地区の住宅改修資金の総額は六千五百万円です。これらは国からの補助、起債がありますので、市費は、四百万円ほどです。

それから、事業をするときの起債は利息をつけて返さなければなりません。その返す金が約五千万円。その中の約六百万円は、国が元利をみてくれますので約四千八百万円が市費です。

そのほか同和教育に二千五百万円、団体の育成補助金が九百五十万円程度。

総額で、約八億一千九百万円が今年の子算ですが、一部実施を見あわすものがあり、実際はこれより減っています。大部分が国県の補助金、起債でまかないますので、市費は約一億九千万円ほどです。これには四十九年度の繰りこし事業もあり、厳密には五十年度は、一億五千四百万円ほどになります。

また、これには国の補助とは別に特別交付税がきています。今年子算分はわかりませんが、四十九年度は三千万円の特別交付税がきています。

問い・それは、特別措置法の関係でなされていると思いますので、期限立法ですから三年くらいすれば終わるわけですが、市における同和地区の福祉施設の基本的なものは完備する目安はできていますか。助役・特別措置法ができて、市では当初十年計画をたてていますが、しかし年々、国県の制約があつて現在の進捗状況は六十割くらいだと思えます。あと三年で四十割をやらなければなりません。国も市もこの財政難ですから完全にできると思われませんが、できるだけは努力します。

### 隔意ない

#### 話し合いを

問い・部落解放同盟・同和会、部落解放同盟正統化南支部の三団体について教えてください。助役・大正時代に創立されて、部落解放運動を行ってきた水平社があります。その伝統を継承発展させて戦後、部落解放同盟と改称されました。この部落解放同盟の中で考え方の違いから分れたのが正常化です。同和会というのは

昭和三十三年に結成された団体に、解同とは指導方針のちがった団体ですが、南園市は同和対策推進協議会といっています。

問い・それでしたら一本化するというのがむづかしいものでしょうか。素人考えですが、事務も雑多になり、赤字も多少違つてきはしないでしょうか。助役・金堂市長当時、同じ解放をめざす団体が三つに分れて果して

## 自主再建で努力

### 心ばそい赤字財政

### 赤字の

#### 原因は

問い・赤字解消の特効薬はないといわれますが、赤字の原因、どうやって少なくしてゆくのかわたしは、教えてください。財政課長・四十八年度から赤字が出はじめて、四十九年度に三億四千六百万円、五十年度に新たに五億円に近い赤字が出るということ、八億円近くになる。これは一年間の税金にちかひ額です。赤字の原因には、一つは市特有の原因、もう一つは国の政策の二

解放運動ができるだろうかという疑念をもち、ずいぶん努力してきましたが、根本的にイデオロギーの違いで実現していません。今の現状では困難だと思いますが、いつかは一緒にやってみようか、と思います。

問い・普通、同和問題といいますが、めつたなことはないわねんといふのが一般的な考えで、そのようなことでは同和問題は前進しないかと思ひます。

つの問題があると思ひます。市特有のものとして、土地の先行取得をする土地開発公社や財団法人南園市開発公社で事業の先取りをしたり、土地を購入しています。これも最終的には市がひきとらねばならず、これが約十億。また、住民要求はたくさんあつても事業をする金がなくてヤミの借金をして事業を行った。それが約八億八千万円かなりの赤字になっている。国が地方へ財源保証する地方交付税は、国税の三十二割です。政府の取扱いがこまめに交付税も当然少なくなり、やはり不況のせいで市民税などはなかなか伸

### 衣食住で

#### せいいつばい

家庭にたとえますと、収入が、

衣食住をみださない状態になっていいます。(この衣食住に相当するものを財政用語で経常経費といひます) 収入を百とすれば、衣食住に百十ほどかかっているわけですから、そのほかで、学校を建てたり道路を直したりしなければなりません。毎年経常経費が雪だるま式にふくれあがっています。

また、借金の利子を含めて支払いをしなければなりません。金利が五十一年度で三億七千万円。五十一年度を計算してみると五億七千万円くらいになります。来年の税収が一億四千万円の見込みです。その半分を利子の返済に費やすことになり、

解消策については、今検討中ですが、事業を全然しなくても何億の赤字がでる状態です。まずこの体質を変えてゆくことが第一です。そして今後は、経常経費をきりつめていかねばならないのである程度、行政水準が下がることも承知しなければなりません。職員、市民みんなが、一致協力しなければ解消できません。

問い・赤字解消のため市有地を売却するそうですが、値段などはどうなっていますか、また補助金を削減するということですが、財政課長・現在、市がもっているものは百四十億の市有林、水田が九反、これが今処分できる財産だ

と思ひます。考えねばならないことは、売れぬものを経常経費にあてても、またもにもとめてしまつて、この辺はよく考えて再建策を考えてゆく必要があると思ひます。

補助金については、つぶれかかるとは、他へ補助金を出さないとすることは考えてみなければなりません。しかし、それぞれ補助金の必要額も異なるし、来年度の補助金をどういう基準でつけるか、削減になると思ひます。

問い・財政事情を考えると、これ以上無理もいへませんが、社会等級や婦人学級は、みんなの心を育成してゆくもので、すべての事業をするのはこの人間です。これから伸びてゆくとする矢先に、ここで挫折するのは残念です。

問い・他の市町村に類のないような赤字団体になるということ、ほんとうに心ばそい限ります。こんな時期に、市の執行部のみなさん、議員のみなさんは、ほんとうにご苦労なことです。市の職員や議員の給料は、スラスラと上つていっています。赤字の要因として人件費の増大もおおいにあると思ひます。

橋本議長・議会は二年間給料はあげていません。そのうえ日常や旅費の制限も受けています。このよ

いし、上げることもできないでしよう。

職員も妻子を養っているし、職員の中にも高い人と安い人があり、やはり安い人の給料は上げてやらなければならぬ。五十年度は、人事院勧告どおりやりましたが、五十一年度は簡単にゆかないと思ひます。

### 財政審議会の

#### 取りくみ

問い・財政審議会は、現段階でどのような取りくみをされていますか。松本議員・赤字再建準備団体にすると、国や県が市の財政を管理することに、自主性がほとんどなくなり、自主性がほとんどなくなり、自主再建の計画をたてるように、という諮問をうけました。

過去二年間、人件費や扶助費、補助金などの経常経費が百十六割と非常に高くなっており、三億六千万円ほどオーバーしています。自主再建で一番問題となるのは、この経常経費をどの程度おさえるかです。四十九年度の決算で、大きな赤字の出た団体が、県下五十三市町村で七つあり、その中でも南園市の経常経費が非常に大きい。また、借りた金二十八億円の元利償還が五十一年度は五十年

り一億八千万円も多くなります。よくいわれるように、東京から名医も来ておりますし、スジをたてた陳情で少しも多く国から金をとってきて、経常経費を節約して投資的経費(事業費など)を生みだしたいと思ひます。

### 経常経費を

#### 四億五千万円削る

一年間に一億づつの赤字を解消するために、四億五千万円程度の経常経費を切らなければなりません。どこでどう切るかといひます。人件費で一億。補助金は、単用団体指定の基準にならうと、標準財政規模の三割ということですので、現在の標準財政需用額十八億円に三割をかけると五千二百万円になる。現在の各種団体への補助金が、八千七百万円です。八千七百万円から五千二百万円を引いた金額を切ると思ひます。それから扶助費などをいくらか切り減らします。財政課の方で作っている案ができましたら審議会で検討する予定です。

問い・市から出ている同和対策費の一億数千万円ですが、何百年も前に同和地区をつくつたのは国です。市に赤字が出てくる現在、国にその金を出してもらつた運動はできないものでしょうか。そうした

と思ひます。教育長さんがいわれたように、私たちがもつと差別の実態を勉強しなければならぬと思ひます。同時に、地区の方も、もう少し公平な見解にたつてほしいと思つことも多々あります。そして意見が違ひました場合、隔意なく話しあつて答えあわないと同和教育は前進していくのではないかと思ひます。